



春の園だより

2020年 5月20日

こひつじ保育園 園長 豊田ゆり子

新緑が眩しい5月を迎えました。新型コロナウイルスの影響でなかなか気持ちは晴れませんが、木々の新緑は濃くなり、園庭ではきれいな花が心を和ませてくれています。まずは前例にない非常事態のため、なかなか予定や方針が立てられず園だより発行が遅くなってしまったことをお詫びいたします。

4月半ば、全国に緊急事態宣言が発出され、外出自粛など「三つの密」を避ける生活を送り、毎日ニュースで今日の感染者数は何人だろうと不安な日々を過ごしてきました。しかし、ようやく東京都の感染者数が2桁、1桁の減少傾向となり、皆さんの感染対策の努力の成果が表れてきたのだと思います。

東京都では緊急事態措置の期間が5月31日になっておりますが、状況によって変わる可能性もあります。今後の行事等の予定については、行政の方針が出次第検討し、お知らせします。例年通りの行事をそのまま行うことは難しく、中止や縮小することもあるかと思いますが、その時の環境を踏まえ、子ども達と き合い、最善の方法を模索していきたいと考えています。ご協力、ご理解をお願い致します。また、お知らせはメール連絡網および当園ホームページに掲載しますのでご確認ください。なかなか予定が立たずご迷惑をおかけしますが、子ども達や保護者の皆さんのことを第一に考えていきたいと思ひます。

何より、新年度を迎え、まだお会いできていない子ども達が沢山います。子ども達の声で溢れる保育の場になることを願うとともに、元気な笑顔を見る日を職員一同楽しみにしています。

・分園児の本園への登園（本園にて合同保育）について

現時点で保育園への登園自粛要請が解除になるかが不明です。町田市の方針が確認でき次第お知らせします。

・感染予防対策について

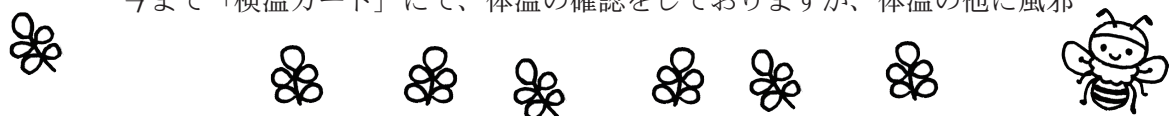
厚生労働省より「保育所における感染拡大防止のための留意点」の事務連絡が出されており、これに基づいて次の感染予防を行います。

1. 発熱について

体温が37.5度以上の場合は、登園を控えてください。また発熱した翌日はお休みいただき、再登園については解熱後24時間以上とします。

2. 「感染症予防健康管理カード」の記 と提出について

今まで「検温カード」にて、体温の確認をしておりますが、体温の他に風邪





症状等の体調面の記入をして頂くため「感染症予防健康管理カード」を作成しましたのでこちらへ移行します。万が一感染症が発生した場合に大切な記録となりますのでご理解とご協力をお願い致します。



・職員健康管理

職員も園児同様に37.5度以上の熱の場合は出勤を控えます。また発熱後の対応も園児と同様の扱いとします。健康管理カードにより健康状態を把握します。



・園内の衛生管理

通常の清掃に加え、手のふれる部分については、消毒剤を用いての清掃を行っています。



・延長保育料について

4月分の延長保育料については、登降園システム打刻データをもとに集計し、5月の中旬ごろ集金袋にて請求し、自粛のお休みをしている方は、登園した際に集金袋を渡します。請求明細をご確認のうえ、速やかにお支払い頂ければと思います。また覚えのない利用があった場合などは、事務までお声かけ下さい。



・延長保育料の減免（免除制度）について

0歳児から2歳児については、「町田市利用者負担額等決定通知書」による保育料がA階層およびB階層の世帯は、園に申請を行うことで延長保育料が免除となります。該当の方はお早めに事務までご連絡下さい。



3歳児から5歳児については、町田市より『延長保育料免除通知（仮）』が送付される予定です。今年度は町田市からの発送が遅れているようですが、通知が届きましたら事務までご連絡下さい。



・給食費について（3/4/5歳児クラス）

メール連絡網（4/30）でお知らせしたとおり、5月は登園自粛された日についての給食費は減額します。登園した日のみの給食費の請求とします。お支払いは、銀行口座引き落としを予定していますが、銀行手続きが遅れておりますので、手続きが完了次第まとめて引き落としさせていただきます。



●新任職員の紹介

新任の職員を紹介します。

- 小出 まゆ（こいで まゆ）先生（保育士：ひよこ組）
- 綱脇知重（つなわきともしげ）先生（保育士：フリー）
- 多辺田菜央（たべたなお）先生（保育補助）
- 横井七海（よこいななみ）先生（保育補助：夕方）
- 深澤桃子（ふかざわももこ）先生（保育補助：夕方）
- 増田白佳（ますだきよか）先生（保育補助：夕方）



保健だより

保健師 徳永 康子

下痢・嘔吐の対処法

感染性胃腸炎は、毎年冬にも流行しますが、4～6月の春先にも流行しています。主にロタウイルス、アデノウイルス、ノロウイルスがあり、突然の嘔吐と下痢、腹痛の症状が現れ、発熱することもあります。ロタウイルスの場合、便が白っぽくなることがあります。

潜伏期間は1～3日で、感染した便や嘔吐物の付着した人の手や物から口についたり、ウイルスがある食品をとることで感染します。登園の目安としては、嘔吐下痢などの症状が治まり、普段の食事ができるようになってからとなります。

【ホームケア】嘔吐や下痢症状が続くので、脱水に注意が必要です。乳児用イオン飲料や湯ざまし、番茶などを与えましょう。吐いた直後はすぐに飲ませず、1時間程度様子を見てから少しずつ与えます。嘔吐や下痢が頻回に続く時は小児科を受診しましょう。嘔吐が治まり、下痢だけになったら、便の様子を見ながら少しずつ消化の良い食事にしていきます。脂肪の多いもの、柑橘類、乳製品、繊維の多い野菜等は避けましょう。母乳の場合はやめる必要はありませんが、1回量を少なくして回数を増やします。ミルクの場合は症状が激しい時は与えず、再開するときは1回量を少なめに与えましょう。

新型コロナウイルス対策

【感染防止のため生活の中で重要なこと】

こまめにしっかり手洗い：

手洗いのタイミングは、外出から戻った後（多くの人が触れる場所を自分も触れている可能性があります）、咳・くしゃみ・鼻をかんだ後、食事の前、調理時、トイレの後などです。

部屋の十分な換気：感染症がうつるのを防ぎ、部屋のウイルス量を下げするために、日中は2～3時間ごとに窓を開け、部屋の空気を新鮮に保ちましょう。

生活習慣を整え、体の抵抗力を高める：

栄養バランスの良い食事と十分な休養をとりましょう。

身近なものの消毒について：食器や手すり、ドアノブなどの身近なものの消毒には、アルコールよりも熱水や塩素系漂白剤が有効です。

『ハイター』や『ブリーチ』などの塩素系漂白剤は濃度0.05%に薄めたうえで拭くと消毒できます。使用するときは、使用法を確認し、手袋を着け、換気をしましょう。金属は腐食することがあるので、水拭きがさらに必要です。塩素系漂白剤はノロウイルスなどの感染性胃腸炎にも有効です。色落ちなどで塩素系漂白剤が使えないものは、80℃の熱水に10分さらすと消毒ができます。

手洗いのポイント

- ①石鹸やハンドソープをたっぷり使うこと
- ②少なくとも20秒間、指1本1本、爪の隙間、手首まで丁寧にこすること
- ③流水で15秒十分にすすぐこと
- ④レバーや蛇口に直接触れずに水を止めることです。丁寧な手洗いの後はアルコール消毒液は必要ありません。

